

昭島消防 防災NEWS

平成31年4月号
昭島消防署
防災安全係
発行

今すぐしよう！ 家具類の転倒防止！

昨年は、6月に最大震度6弱を記録した大阪府北部地震が、9月には最大震度7を観測した北海道胆振東部地震が発生し、大きな被害をもたらしました。これらの地震では、倒れた家具などによって多くの人が負傷しており、亡くなった方もいます。

地震はいつやってくるかわかりません。今すぐ家具転対策を行い、地震に備えましょう。

◆家具類の転倒・落下・移動でどんな被害があるの？

●けが

平成28年（2016年）熊本地震をはじめ、近年、発生した地震でケガをした原因を調べると、約30%～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした（図1参照）。



図1 家具類の転倒・落下・移動が原因のケガ人の割合

●火災

地震が起こると、ストーブ等の熱を発生する器具に家具類が転倒等をした場合だけでなく家具類の収容物（本棚の本など）が落下することでも、火災が発生する危険があります。

●避難障害

出入口付近に家具転対策を実施していない家具を配置してしまうと、地震により、転倒した家具が扉や窓を塞ぎ、逃げられなくなることがあります。

◆家具転対策についてもっと知りたい！

詳しい対策については、東京消防庁ホームページに掲載中の「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」をご覧ください。

家具転対策ページでは、ハンドブック以外にも、プロモーションビデオや、過去の地震の調査資料などもありますので、ぜひ一度ご覧ください。

家具転対策ページは、下のURL及びQRコードからアクセスできます。

東京消防庁 家具転対策

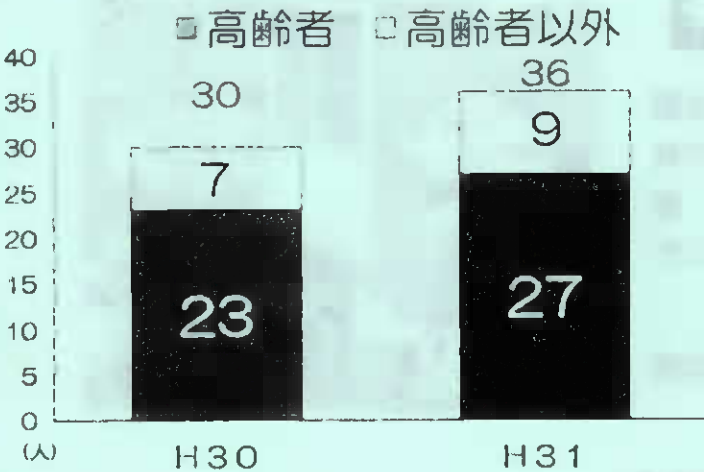
検索



住宅火災による死者未だ増加！！

3月15日現在、東京消防庁管内では火災が多発（昨年比＋35件）しており、その中でも住宅火災による死者は36名発生し、昨年の同時期と比較すると6名増加しています。

【住宅火災による死者の発生状況】



住宅火災による死者36名となっています。

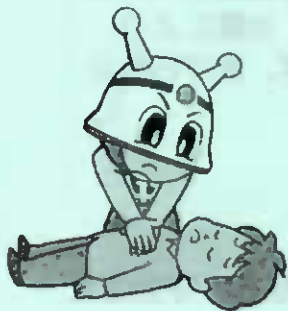
死者のうち高齢者は27名と全体の75%と高くなっています！！

下記のことに注意し、火災の発生を防ぎましょう！！

寝たばこはしない！

調理中にこんろから離れない！

ストーブの近くに燃えやすい物を置かない！



昭島消防署定期普通救命講習

4月21日(日)午前9時から

— 目の前で倒れた家族を救えるのはあなただけです —
救命講習を受けましょう

お申し込み、お問い合わせは昭島消防署救急係まで
なお、教材費(¥1,400)が必要となります。